

貿易自由化のあり方とその経済厚生への影響について： New Economic Geography のモデルを用いた分析

長町 康平

東京大学大学院経済学研究科博士課程

kohei.nagamachi@gmail.com

概要

本稿は産業連関と各産業毎の異なる輸送費を考慮した2国の国際経済のモデルを構築し、最終財と中間財の輸送費が経済活動の分布に対照的な影響を持つこと、そして十分に低い中間財の輸送費は経済活動の分散力として働くことを示す。さらに、輸送費の変化が先進国の経済厚生に与える影響を分析する。そこでは、最終財の輸送費を一定とした中間財の輸送費の低下は先進国の経済厚生を低下させる効果を持つことが示される。これは中間財の輸送費の低下が最終財部門への企業参入を容易にし、途上国の経済発展を促進する効果をもたらすためである。